

こども未来 アクション 2024

中高生版



東京都は、こどもの笑顔があふれる社会をつくりま

こどもが自分らしく健やかに成長できる

こどものために何がベストかをこどもと一緒に考えます

社会全体がこどもを大切にしている

社会全体で「こどもを大切にする」気持ちを広げていきます

安心して子育てができる

子育て世代をずっとサポートします



東京都こども基本条例を知ろう

こどもは社会の一員です。大人と同じようにたくさんの権利を持っていて、こどもだけが持つ権利もあります。こどもの権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように**東京都こども基本条例**ができました。

こどもはかけがえない存在 権利の主人公

こどもにはこどもの権利があります。誰もが持っている、当たり前の権利があります。こどもの権利は大切にされなければならないものです。

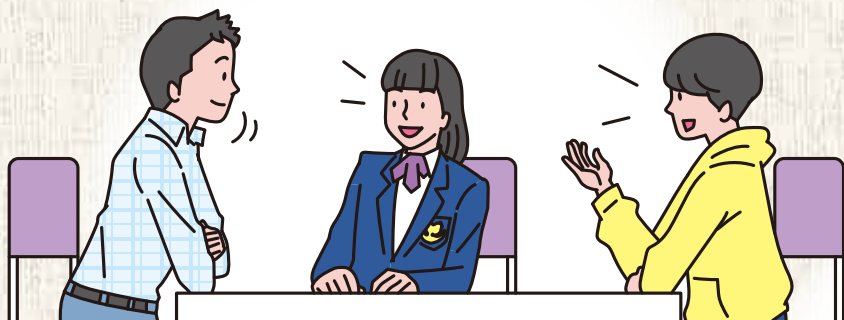
こどもの幸せが一番

大人はこどもに最も良いことは何かということを、第一に考えます。

こどもの意見は 大切にされます

こどもの意見は、価値あるもの、尊いものです。大人はこどもの意見にしっかり向き合います。

主役である こどもの意見を 大切にしていきます



こどもの身近な場所で
声を聴いています



SNSを使って
中高生の意見をまとめています



公募したモニターに、
都の取組についての
WEBアンケートをしています

都庁の職員が
中学校や高校に行き、
こども政策にかかわる
テーマで授業します



こどもの声や思いを 今後のアクションへつなげていきます

学習環境に関する声

外国の人と
かかわれる授業が
もっとあるといい

英語を使った
仕事をして、
海外で働きたい

親にお金のことを
相談しにくい

日本語がわからないので
学校でもひとりぼっち

学校でも
フリースクールでも、
自分に合った場所を
選べるという
システムになるといい



今後の
アクション

一人ひとりの状況に合わせた学びをサポートしていきます



悩みの相談に関する声

身近な人や
顔を知っている人だと
言えない悩みもある

電話は苦手だけど
LINEなら
気軽に相談できる

話を聞いてくれて
共感してくれるだけでもいい

今後の
アクション

困った時に、様々な方法（SNS・電話・対面など）で
気軽に相談できるようにします

遊び場や居場所に関する声

有料の体育館や
ファミレスに行く子もいるけど
自分たちにはお金がない

居場所づくりにも
こどもの意見を
反映してほしい

こども食堂がなくなったら
居場所がなくなる

今後の
アクション

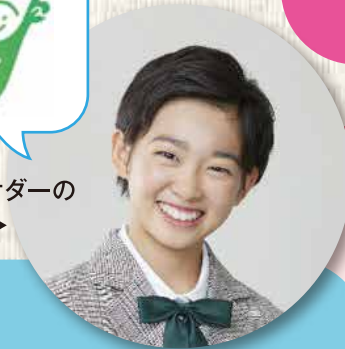
こどもが気軽に立ち寄れる地域の遊び場や居場所を
増やします

社会の課題について、
みんなで考えた
アイデアを発信できる

こどもを大切にする
社会へ!



こどもアンバサダーの
村山輝星さん▶



こどもの不安や悩み

こどもの笑顔
まち

社会全体で
こどもの笑顔を
応援します

からだや
体調のこと、
もう一人で
悩まない

こどもの学び

海外留学のチャンスや
海外の学校との交流が増える



SNSや電話などの様々な方法で、
気軽に相談できる

困った時に、
頼れる人や場所がある



をサポートします

学校や家以外にも
いろいろな居場所ができる

があふれる
を実現

事故から守られ
思い切り
チャレンジできる

子育て世代を
応援します

お金の心配をせずに
安心して学び、進学できる

を応援します

自分の得意な勉強に
もっと取り組める

デジタルスキルの
最先端が学べる



からだや体調のこと、もう一人で悩まない

ユースヘルスケア

こころやからだの様々な変化に直面し、
不安や悩みを抱え込みやすい思春期の「どうしよう」「困った」を解消し、
「今」と「未来」の健康管理をサポートします

学び

産婦人科医による
特別授業 など

情報発信

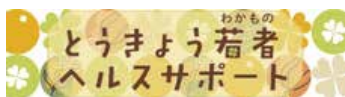
ホームページ
「TOKYO YOUTH
HEALTHCARE」 など

相談・受診

とうきょう若者
ヘルスサポート(わかさぼ※)
産婦人科学校医による
専門相談



※わかさぼ



- 看護師等の専門職が、性を含む思春期特有の健康上の悩みにお答えします
- 匿名でも相談できます



TOKYO YOUTH HEALTHCARE

— 10代からの健康・医療サイト —

なかなか言えない・聞けない

性やからだ、こころの悩みや不安を解決する手助けをします

■主な特長

- ユースの健康を取り巻く課題や、ユースの悩み・関心に合わせたテーマの記事を配信しています
- 都のユース向けの相談窓口が検索できます
- 3つのコンテンツがあります
 - ・困った時に役立つ「SOS」
 - ・キャラクターと一緒にヘルスケアを学べる「Story」
 - ・インフルエンサーとの対談「Interview」



▲主人公のアカリとヒロト、案内人のモコフカ

■9つのカテゴリーから記事を探せます

 <p>からだのこと 第二次性徴、 生活習慣 など</p>	 <p>栄養のこと 摂食障害、 過食・拒食 など</p>	 <p>恋愛のこと 対等な関係作り、 デートDV など</p>
 <p>性のこと 妊娠・避妊、 性感染症、 性の多様性 など</p>	 <p>こころのこと メンタルヘルス、 うつ など</p>	 <p>暴力のこと 性暴力、 いじめ など</p>
 <p>酒と薬物のこと 市販薬、 カフェイン など</p>	 <p>ケガのこと 思わぬ事故・ケガ、 障害 など</p>	 <p>その他 人間関係、 SNS など</p>

URL:<https://www.youth-healthcare.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都 ユースヘルスケア



二次元コードからもアクセスできます▶



事故から守られ思い切りチャレンジできる

こどもを事故から守る環境づくり

学校や外出先など、いろいろな場面で事故は起きています
都では、こどもの事故が起きにくい環境づくりに取り組んでいます



▲カエル先生

どうすれば、事故を予防できるのか？

例えば、川で遊ぶときに、ライフジャケットを「着けない」から「着ける」に「変える」だけで、おぼれることを防げるようになる

変えたいもの

川でおぼれること

変えられないもの

川の流れや深さ

変えられるもの

- ライフジャケットを着けること
- マリンシューズをはくこと
- こどもだけで川に近づかないこと



何かを「変える」ことで事故は予防できる
「変えられるもの」が何かを考えてみよう



ココから
変えてみよう!



- 通気性の良い服を着る
- 帽子で直射日光を避ける
- 最新の暑さ指数を確認する
- こまめな水分・塩分の補給
- 無理をしない


こんな事故も…「屋内の運動」

体育館などの屋内施設でも安心はできない。太陽が当たってなくても、室内の温度や湿度で熱中症になることもある。苦しくなる前に、涼しい場所に移動して休もう。

みんなで事故予防について
考えよう!



〈こどもの事故予防
ハンドブックの
イメージ〉



こども未来アクション2024 中高生版

令和6(2024)年2月 発行

編集・発行 東京都子供政策連携室企画調整部企画調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3812
E-mail:S1110301@section.metro.tokyo.jp
